

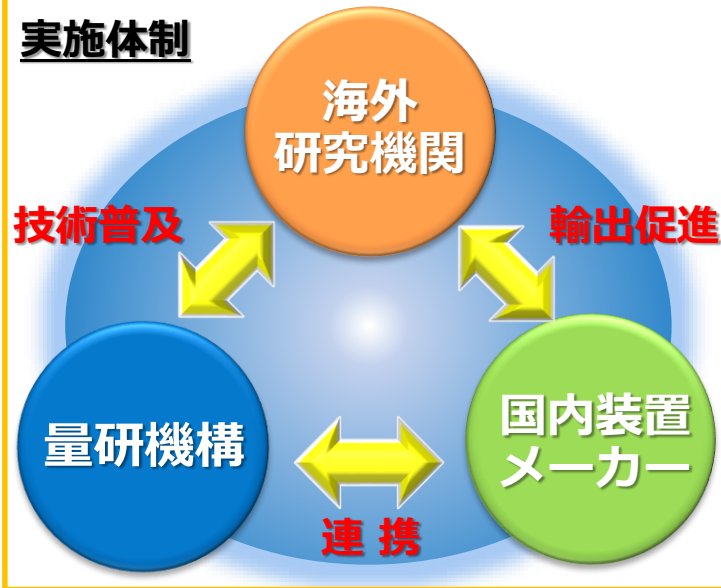
第16回東京圏国家戦略特別区域会議 千葉市提出資料

平成29年4月20日
千葉市長 熊谷 俊人

事業の目的

国立研究開発法人である量子科学技術研究開発機構(放射線医学総合研究所)が在留期間の特例を活用して、海外機関や国内企業と連携した取組みを推進し、**粒子線技術やノウハウの海外移転、日本製医療機器の輸出促進を図る。**

実施体制



海外連携機関

- 【米国】 テキサス大学サウスウェスタン
メディカルセンター
コロンビア大学
- 【欧州】 ノルウェーハウケランド病院
ロシア極東連邦大学
- 【アジア】 マレーシア科学大学 他



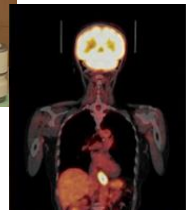
国内協力企業

- ・住友重機械工業 (株)
- ・(株) 東芝
- ・(株) 日立製作所
- ・三菱電機 (株)
- など



量子科学技術研究開発機構

世界トップクラスの量子科学技術の研究開発を実施



在留期間の延長
(1年⇒2年)

研修の充実

外国人医師等の
受入増加

**世界における粒子線がん治療研究開発成果の
普及拡大と継続・発展**

研究開発の
国際標準化

海外への粒子線
がん治療の普及

日本製医療機器
の輸出促進

ドローン宅配等分科会・技術検討会の開催状況

◎ドローン宅配等分科会～全2回開催～

- ◆ H28.4月 第1回
- ◆ H28.11月 第2回

第2回分科会において

(1) デモンストレーション

- ◆ 平成28年11月22日(火)
- 場所：稲毛海浜公園・いなげの浜・東京湾海上
- 目的：実際のドローン宅配をイメージしたデモ飛行
 - ・海上飛行
 - ・携帯アプリによる荷物注文
 - ・LTE網を活用した遠隔制御

(2) 課題の提唱

※デモ飛行で陸上飛行の際の人及び車両や、東京湾海上飛行の際の船舶など第三者上空飛行を避けるため

協議した機関・団体は約20にものぼる。

◎技術検討会の開催状況～全5回開催～

- ◆ H28.6月～H29.2月

【実証実験等の状況】

- ◆ 上空の気象観測試験
- ◆ 都市部上空の電波測定試験
- ◆ LTE網を使った遠隔制御試験

第三者上空の飛行許可は必要

